



この しゅくふく された きんようび、アッラー の めいれい (swt) に したがひ、マスジド で かた を ならべて たつ しんあい なる きょうだい、しまい の みなさま！ ジュムア・ムバーラク！ アッラー (swt) の へいあん と じひ、そして しゅくふく が あります ように。

#### しんあい なる ムスリム の みなさま！

ほんじつ は きんようび です。たいよう が のぼる ひ の なか で、もっとも よろこばしい ひ です<sup>1</sup>。わたしたち が しゅ (swt) の まえ に たち、りょうて を あげて たんがん し、しゅ に わたしたち の つみ に たいする ゆるし と なさけ を もとめる しゅくふく された ひ です。

#### しんあい なる しんこうしゃ の みなさま！

きんよう れいはい は、ぜんのう の しゅ (swt) が せいウルアーン において とくべつ な ちい を あたえた、ゆいいつむに の すうはい こうい です。きんようび は、せつきょう、ホトバ、いのり に よって わたしたち の あやまち や つみ を きよめ、ぜん と ただしさに みちびき、ちしき と ちえ、りかい を み に つけさせ、しゃかい せいかつ を こうじょう させる かちかん に ちかづけて くれます。しゅくふく された この じかん から おんけい を えようと する すべて の しんこうしゃ は、せぞく てき な かんしん を わき におき、ぜんのう の アッラー (swt) の よびかけ に みみ を かたむけなければ なりません。

#### しんあい なる ムスリム の みなさま！

ホトバ は、ムハンマド (saw) の ウンマ への よげんしゃ の よびかけ で あり、ぜんのう の しゅ (swt) の めいれい と きんし を おもいおこさせる もの です。アッラー (swt) の みち、イスラーム の ひかり、そして わたしたち の あいする よげんしゃ (saw) が たいげん した うつくしい どうとく へと じんるい を まねく もの です。ホトバ は、きんよう れいはい には ひつす の ことがら です。ホトバ なし には、きんよう れいはい を かたる ことは できません。れいはい と おなじよう に ちゅういぶかく、けいい を もって ホトバ を きく ことが ふかけつ です。したがって、ホトバ の さいちゅう に だれか と はなす ことは さける べき です。あいさつ を かわず ひつよう も ありません。けいたい でんわ を しょう すべき で は ありません。じっさい に、アッラー の しと (saw) は、イマーム が ホトバ を おこなっている あいだ は、「しずか に しなさい」 など という こと さえ ない ほど、ちゅういぶかく きく ように と わたしたち に すずめています<sup>2</sup>。

#### そんけい すべき しんこうしゃ の みなさま！

こんしゅう の きんよう れいはい の ホトバ の さいしよ に ろうどく した しょうく において、ぜんのう の しゅ (swt) は つぎ の よう に つげて おられます。「しんじる もの たち よ。しゅうかい の ひ に れいはい の よびごえ を きいた ときは、アッラー を おもい おこす こと に いそぎ、とりひき から はなれなさい。その ほう が あなたがた の ために よい、もし あなたがた が してて さえ いたなら。」<sup>3</sup> ですから、せいとう な りゅう の ない かぎり、アッラー (swt) への ふくじゅう の しょうちゅう で あり、だんけつ と れんたい を あらわす きんよう れいはい を けつして おこたる こと の ない よう に しましゅう。

ほんじつ の きんよう れいはい の ホトバ を、よげんしゃ (saw) の いか の けいこく を もって おわります。「アッラー は、りゅう なく きんよう れいはい を つづけて 3 かい、おこたる もの の ころを ふういん したもう」<sup>4</sup>。

<sup>1</sup> Muslim, Jumu'ah, 18.

<sup>2</sup> Muslim, Jumu'ah, 11.

<sup>3</sup> Jumu'ah, 62/9.

<sup>4</sup> Ibn Majah, Iqamat, 93.